

令和5年度事業報告・収支決算 全体概要



1. 日本赤十字社長期ビジョン・中期事業計画

「日本赤十字社 長期ビジョン」

第一次中期事業計画
(令和2～4年度)

令和2年度
計画

令和3年度
計画

令和4年度
計画

第二次中期事業計画
(令和5～7年度)

令和5年度
計画

令和6年度
計画

令和7年度
計画

第三次中期事業計画
(令和8～10年度)

令和8年度
計画

令和9年度
計画

令和10年度
計画

創立150周年

令和5年度の主な出来事



令和6年能登半島地震における
巡回診療・こころのケア



ロケットの攻撃を受けた
ウクライナ・キーウでの応急対応



イスラエル・ガザ武力衝突における
傷病者の搬送

2. 令和5年度の主な取り組み

(1) 中期事業計画の横断的テーマに基づく主な取り組み

① 赤十字グループの総合力を発揮した大規模災害への対応



- 大規模地震対応計画の見直し
- 新たな救護員育成体系に基づく救護員実践力の向上
- 赤十字防災セミナー・講習事業の推進
- 地域医療継続に向けたBCP(事業継続計画)の見直し

② 複合的な人道危機をもたらす気候変動に対する取り組みの強化



- 気候変動に対する全社的な取組方針の策定
- 豪雨災害等への対応強化
- 赤十字病院におけるCO2排出量削減の推進

③ 人口構造の変化に対応した持続可能な事業(経営)基盤の強化



- 会員組織の拡充・会員増強に向けた取り組み
- 豊かな心を持った青少年の育成強化
- ボランティアが参加しやすい体制の整備
- グループ経営を推進することによる赤十字病院の経営効率の強化
- DX(デジタルトランスフォーメーション)等を踏まえた血液次期基幹システムの開発設計

④ これまでの新型コロナウイルス感染症対応を踏まえた新興感染症への対応



- 新興感染症対策マニュアルの実効性の向上
- 新しい生活様式を踏まえた献血血液確保体制の確立

(2) 事業・部門別の優先課題に対する主な取り組み

① 救護・社会活動等



- 国際的な優先的人道課題への対応
- 姉妹社の基盤強化支援（開発協力）
- 国際赤十字・赤新月運動全体の強化

② 医療事業等



- 各地域における地域医療構想に基づいた医療提供体制の整備
- 赤十字病院グループ全体の医療の質の向上
- 広く社会に貢献できる専門性の高い看護師の養成

③ 血液事業



- 将来の献血基盤の構築に向けた若年層への献血推進
- 安全な輸血用血液の供給のための細菌スクリーニングの導入準備

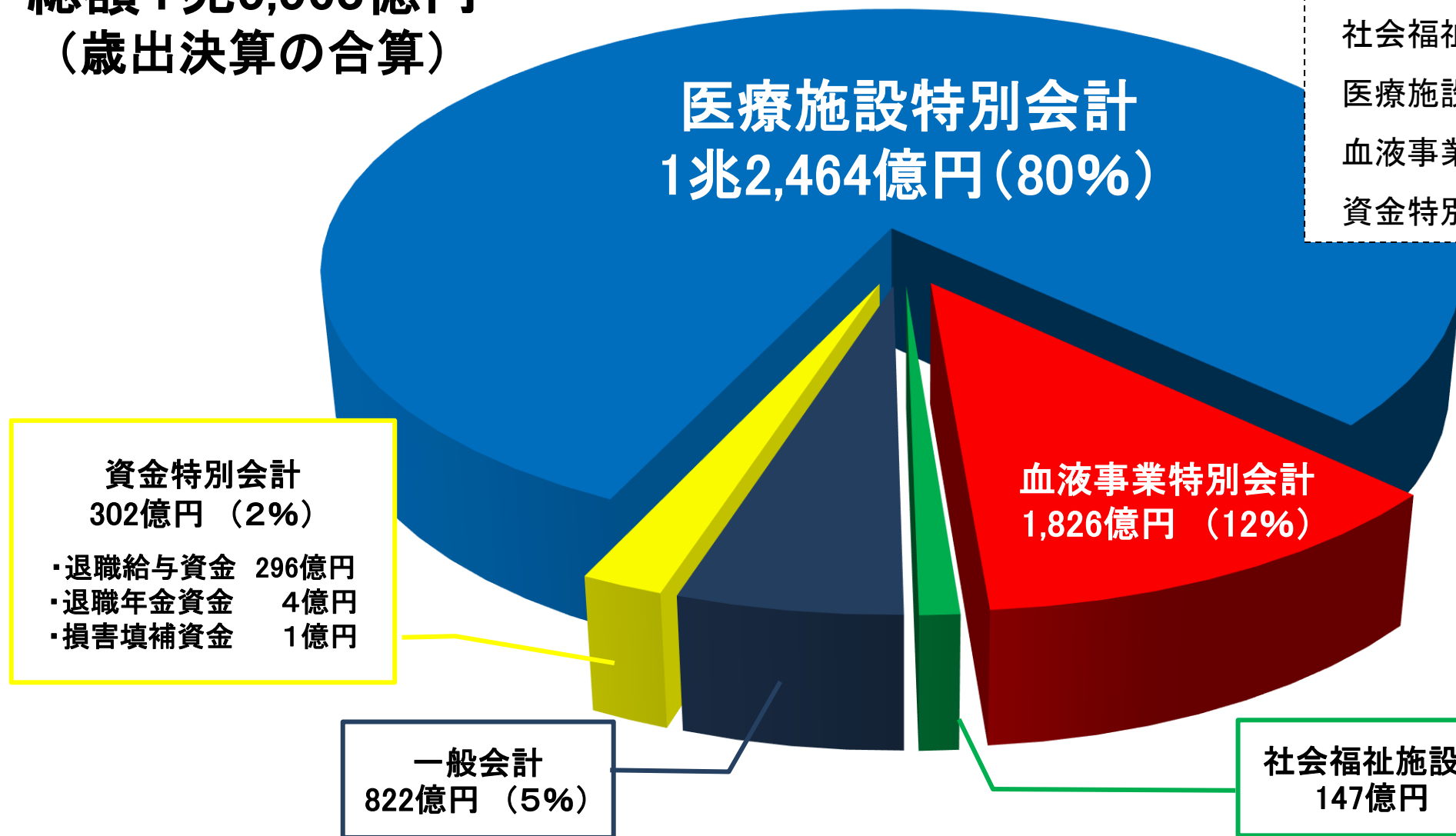
④ コーポレート

- 日赤への活動内容の認知・理解を促進し、好意を抱いてもらうことに重点を置いた広報展開
- 日赤創立150周年プロジェクトの検討
- リスク管理体制の整備
- 超少子高齢社会における安定的な事業運営に資する人材の確保
- 全社レベルで財政支援ができる体制の確立（資金の有効活用）

3. 令和5年度決算の概要(全体)

総額1兆5,563億円
(歳出決算の合算)

(参考) 令和4年度決算額 1兆5,357億円
一般会計: 547億円
社会福祉施設特別会計: 147億円
医療施設特別会計: 1兆2,553億円
血液事業特別会計: 1,765億円
資金特別会計: 342億円



※ 端数処理の関係から総額と内訳額は一致しないこと。

4. 日本赤十字社創立150周年とその後に向けて

- 令和6年度以降は、第二次中期事業計画の実施と併せ、その先の未来に向けた検討を本格的に開始する。
- 職員と赤十字に関係する様々な人々が、普遍的な赤十字の理念のもと、社会課題に対応した赤十字を自らが作り上げていく意識を持つことが重要であり、その第一歩目として大阪・関西万博への出展が位置づけられる。

